

トラスバンク、200自治体超が利用する行政手続きデジタル化サービス「LoGoフォーム」で 新型コロナワクチン接種の予約受付・管理フォームに対応開始

～ 24時間いつでもPC・スマホでWEB予約、アプリダウンロードや事前登録なしですぐ使える ～

行政デジタル化サービス「LoGoシリーズ」を提供する当社の子会社である株式会社トラスバンク(本社：東京都渋谷区、代表取締役：川村憲一)は、2つのツールで全国の自治体による新型コロナワクチン接種対応のデジタル化を支援します。

行政手続きデジタル化サービス「LoGoフォーム」では、自治体がワクチン接種の予約受付・管理を一元化できるフォームを提供し、職員の業務効率化につなげます。住民は、特定のアプリのダウンロードや事前登録をせずとも、PCやスマホで24時間いつでもWEB上で接種会場や日時を選び、予約や変更キャンセルができます。

※「LoGoフォーム」：全国202自治体が利用（2021年2月15日時点）

行政専用ビジネスチャット「LoGoチャット」では、庁内プロジェクトチームや本庁と接種会場の職員でトークルームを作れば、密な情報連携体制をつくれます。さらに、全国の自治体職員が参加するユーザーグループにも「新型コロナワクチン接種」のトークルームを開設し、自治体間の情報交換の場としても活用されています。

※「LoGoチャット」：全国582自治体が利用（2021年2月1日時点）

LoGoシリーズ (LGWAN-ASPサービス*) が実現する新型コロナワクチン接種対応のデジタル化

LoGoフォーム (住民、自治体)

- ワクチン接種の予約受付・管理
- そのほか関連業務 (例：接種券の再発行受付、接種会場スタッフの体温報告、コールセンターの問い合わせメモ 等)

LoGoチャット (自治体)

- 庁内：部署横断プロジェクトチームや本庁と接種会場の情報連携体制づくり
- 他自治体：全国の自治体と最新情報や業務ノウハウの情報交換

*LGWAN-ASP：自治体向けネットワークの「総合行政ネットワーク (LGWAN)」上で行政業務アプリケーションを提供できる仕組み

◆ LoGoフォーム：ワクチン接種の予約受付・管理をデジタル化

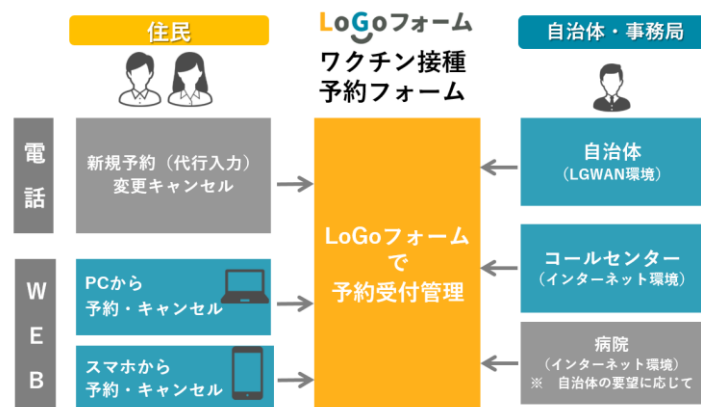
【住民】

- 24時間いつでもWEBで予約やキャンセルが可能
- 予約空き状況が会場や時間帯でリアルタイム表示
- 予約可能期間も自動表示され誤予約を防ぐ
- 新たにアプリのダウンロードや事前登録不要
- PCやスマホ、SNSなど特定手段に依存せずに利用可

【自治体】

- WEBと電話の予約データを一元管理で効率向上
- LGWANとインターネットの両方で使える
- 接種対象者の自動判定や重複予約の防止機能で、確認作業の軽減やヒューマンエラーを防止
- すでに利用している自治体
追加費用ゼロですぐに運用開始が可能
- 新たに導入する自治体 (無料トライアルで利用可)
ワクチン接種の予約管理だけでなく、接種券の再発行受付やスタッフの体温報告など、今後もあらゆる行政回りのデジタル化に汎用的に使えるため、システム投資を無駄にすることなく導入できる

LoGoフォーム予約受付・管理の全体イメージ



◆ LoGoフォーム：ワクチン接種の予約受付・管理をデジタル化

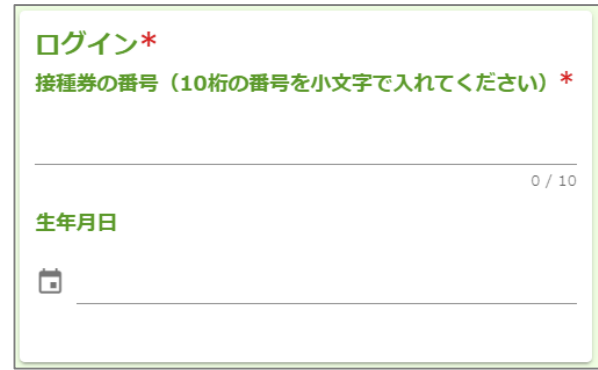
◆ 新たにアプリダウンロードや登録不要、自治体のシステム調達コストも削減

4月にも高齢者らのワクチン接種開始が見込まれ、全国の自治体では急ピッチに準備が進められています。自治体の業務では、予約や問い合わせの電話の殺到、膨大な事務作業の発生、対応する人手不足などの課題が予想され、デジタルを有効に活用して効率的かつ正確に、住民にとっても混乱なく行うことが求められます。これらの背景から、「LoGoフォーム」でワクチン接種の予約・管理を一元化できるフォームを構築しました。

住民は、自治体が案内する予約フォームのURLやQRコードからアクセスし、24時間いつでもWEBで予約や変更・キャンセルができるようになります。PCやスマホ、通話アプリなど特定のツールに依存しないうえ、アプリのダウンロードや事前登録も不要のため誰でもすぐに利用可能。住民にWEB予約の利用機会を等しく提供できます。

自治体も、WEBとコールセンター（代行入力）の予約データを一元管理できます。接種券番号と生年月日による対象者の自動判定、ワクチン在庫数と予約枠の自動更新、接種会場での受付管理も実現。電話対応や手入力、確認作業の負担軽減につながるほか、対象外の人を予約を誤って受け付けてしまうヒューマンエラーも防げます。

すでに「LoGoフォーム」を利用している自治体は、追加費用なくすぐに運用を開始できます。新たに導入する自治体も、「LoGoフォーム」はワクチン接種の予約管理だけでなく、今後もさまざまな申請手続きや予約申し込み、アンケート、庁内業務といった行政デジタル化に使えるため、特定の用途にしか使えないシステムに多額の税金を投じるような調達コストを削減でき、システム投資を無駄にすることなく導入できます。



住民側の予約フォーム画面例（接種券番号・生年月日で対象者を自動判定）



住民側の予約フォーム画面例（会場と日時を選ぶと予約枠残数も見える）

◆ LoGoフォームを活用したワクチン接種予約の主な想定フロー

	市区町村	住民
接種券の発送	<ul style="list-style-type: none"> LoGoフォームで予約受付フォームを作成 自動生成されるURLやQRコードをホームページや接種券に同封して案内 	
予約・問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> 接種券番号と生年月日データをLoGoフォームにアップロードし、対象者を自動判定できるように設定 会場別のワクチン割当数や予約枠を設定 コールセンターからの予約は、フォームの項目に沿って聞き取った情報を代行入力 LoGoフォームでコールセンターへの問い合わせ内容も蓄積可能 	<ul style="list-style-type: none"> 接種券が届いたらWEBかコールセンターで予約 WEBの場合、予約ページにアクセスして接種券番号と生年月日を入れてログイン ※正しく入力されないと次に進みません ※同じ接種券番号による重複予約はできません 希望の接種会場や日時の選択、接種者情報（氏名、住所、連絡先など）を入力して受付番号を発行 受付番号で予約キャンセルも可能
当日の会場受付	<ul style="list-style-type: none"> LoGoフォームで予約データと接種券等の情報を確認し、ステータスを【接種済み】などに更新 CSVダウンロードで予約一覧表も印刷可能 	<ul style="list-style-type: none"> 接種券、予診票、身分証を持参してワクチン接種 後日、WEBかコールセンターで2回目を予約 間隔日数にあわせて予約可能期間が表示される

※あくまでトラストバンクによる想定フローです。自治体によって予約方法や手順が異なる場合があります。

◆ ワクチン在庫数や予約枠をリアルタイムに表示、接種対象者の自動判定でミス防止も

ワクチン接種の予約受付・管理に便利な機能を搭載しました。たとえば、接種券番号と生年月日で対象者を自動判定し、職員の目視による確認作業を軽減したり、接種の間隔日数にあわせて予約可能期間を表示し、誤予約を防いだりすることもできます。ワクチン在庫数と予約枠残数も予約に応じてリアルタイムに表示します。

「LoGoフォーム」は、プログラミングをせずともパーツのカスタマイズなどで簡単に構築できる“ノーコード”な仕様で、ITに詳しくない職員でもすばやく自治体のニーズにあわせたフォームを作ることができます。

さらに、他自治体が作ったフォームも公開設定であればテンプレートとして活用ことができ、自治体間でノウハウを共有しあうことができます。

【主な機能】

照合自動判定：アップロードした接種券番号と生年月日を入力情報と突合して接種対象者を自動判定

データ一覧：予約データがリアルタイムに一覧表示
キーワードや日時によるデータ検索

予約期間設定：1回目と2回目の間隔日数などにあわせて予約可能期間を表示し、誤予約も防止

データ保存：CSVファイルでダウンロード

キャンセル：予約者自身でWEB上でキャンセル可
受付ステータスや予約枠残数にも自動反映

受付管理：予約データのステータスを「受付」「1回目接種済」などに設定

予約枠表示：会場や日時別で予約枠をリアルタイム表示
予約枠残数も自動反映して超過予約を防止

グラフ表示：データは自動集計され円・棒グラフ表示も可

在庫管理：ワクチン在庫数と予約枠数をリアルタイム表示

※サービスや機能内容は発表時点のものです。
今後の国の方針にもとづき、仕様を変更する場合があります。

カスタマイズ：自治体の好きなように項目や説明文、カラー、ステータス文などを設定

自治体の管理画面例（予約データ一覧）

自治体の管理画面例（ワクチン在庫割当数と予約枠）

◆ ワクチン接種予約以外のコロナ対策もデジタル化

「LoGoフォーム」は、ワクチン接種の予約管理だけでなく、住民サービスや庁内業務に関するあらゆる行政のデジタル化に使える総合プラットフォームです。すでに用意されている160超のテンプレートを使ったり、各自自治体が自由にすばやくフォームを作ったりできます。自治体がコロナ対策に関する手続きをすばやく効率的にデジタル化できるテンプレート「**コロナ対策パッケージ**」も提供しています。

【コロナ対策パッケージ】

1. マイナンバーカード受取予約（住民）
2. 税務相談予約（住民）
3. 新型コロナウイルス検査助成（住民）
4. 一斉休校に関するアンケート（住民）
5. 感染防止対策取組事業者登録（事業者）
6. 事業継続支援助成金申請（事業者）
7. テレワーク許可申請（庁内）
8. こころの健康チェックシート（庁内）

【そのほか】

住民・事業者

- 選挙立会人の登録申請
- 給付金・補助金申請
- 粗大ごみ収集申請
- 道路や公園の損傷投稿
- 被災状況の報告
- 乳がん検診申し込み
- 政策アイデアボックス

庁内

- 給付金振込データ入力
- 説明会やセミナーの申込
- 職員採用試験申込
- 年末調整申請
- テレワークアンケート調査
- 公用車運転日誌
- 避難所の避難者数報告

◆ 「LoGoフォーム」とは ～全国202自治体が利用（2021年2月15日時点）～

2020年3月にリリースしたLGWAN-ASPサービスの行政総合プラットフォーム。LGWANとインターネットの両方に対応。各種手続きや助成金の申請、アンケートや申し込み、問い合わせ窓口といった住民サービスのほか、庁内の届け出、上長への報告フォーム、データ入力と集計、調査票など庁内業務もデジタル化もできる。マイナンバーカードを活用したデジタルIDアプリと連携しており、本人確認が必要な申請もハンコや身分証なしでオンライン完結が可能。現在、無料トライアルを実施中。

◆ LoGoチャット：庁内や他自治体の職員とチャットで密な情報連携

◆ 庁内：プロジェクトチーム（PT）もチャットで連携、接種会場との連絡も

「LoGoチャット」は国内初のLGWAN-ASPサービスの行政専用ビジネスチャットです。LGWANとインターネット両方に対応し、職員はPCやスマホで庁内や他自治体、外部事業者とやりとりできます。部署横断PTや接種会場スタッフとチャットでつながることで、電話やメールよりも密な情報連携体制を作れます。

【想定活用例】

- ▶ **コロナ対策PT**：プロジェクトメンバーでトークルームを作り、刻々と変わるワクチン接種の情報を即座に一斉共有したり、対面会議を開かずとも対応を議論したりできる。予定調整やノートの機能で、業務スピードも向上。
- ▶ **本庁と接種会場**：本庁（LGWAN）と接種会場（インターネット）の職員同士も、それぞれのネットワーク環境下でチャットで連絡を取り合うことができる。



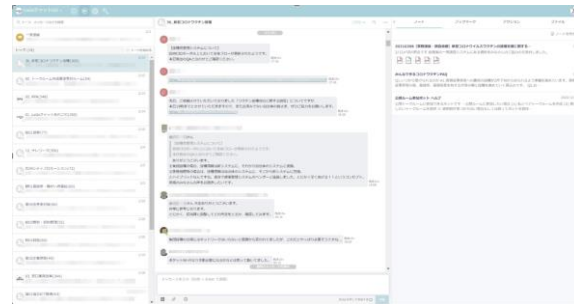
LoGoチャットイメージ

◆ 他自治体：ユーザーグループで全国の自治体と情報連携

「LoGoチャット」を使う全国の自治体職員がつながるユーザーグループには、約100テーマのトークルームを開設しています。「新型コロナワクチン接種」のルームでは、各自治体からワクチン対応に関する疑問点やそれに対する回答、国の動きなど最新情報の共有、業務ノウハウについてのやりとりが飛び交い、自治体同士がチャット上でワクチン業務を助け合う動きが生まれています。

【「新型コロナワクチン接種」ルームのやりとり例】

- ・ 「市外で接種希望者がいた場合、どのように対応しますか？」
- ・ 「DV被害者への接種券発送の対応で気をつけることは何でしょうか？」
- ・ 「今度、こんなワクチン対応に関するセミナーがあります！」
- ・ 各自治体からあがった質問と回答をまとめてノート機能でいつでも見られるFAQ集を作成
- ・ 接種券の郵送方法などの疑問点をアンケート機能で調査 など



「新型コロナワクチン接種」トークルーム画面の例



2月からワクチン担当となり、日々トークルームを見て、問題意識の向上、現場の情報入手、勉強などに役立っています。（※実際の投稿文より）

A市職員

◆ 「LoGoチャット」とは ～全国582自治体が利用（2021年2月1日時点）～

2019年9月にリリースした行政専用ビジネスチャット。LGWAN-ASPサービスの本格的な行政専用ビジネスチャットツールは国内初。LGWANとインターネットに対応し、PCやスマホで庁内や他自治体、外部事業者とやりとりできる。電話、メール、FAX、会議といったコミュニケーションをチャットに代替することで、タイムリーな情報共有や生産性向上、ペーパーレスにつながる。職員1人あたり年間98時間の削減効果を試算した。全国の自治体職員と約100テーマで情報交換できるユーザーグループがあるほか、チャット上でファイルを無害化処理できる機能も搭載。現在、無料トライアルを実施中。サービス名の「LoGo」は「Local Government」の頭2文字から自治体職員が名付けてくれた。

▶ 公式サイト「パブリテックファン」：<https://publitech.fun/>

株式会社トラストバンク

「自立した持続可能な地域をつくる」がビジョン。2012年4月に創業。同年9月に国内初のふるさと納税総合サイト『ふるさとチョイス』を開設し、契約自治体が全国約9割を占める1,570自治体超（20年10月）、お礼の品登録数は30万点超（20年10月）の国内最大のふるさと納税サイトに成長。18年11月株式会社チェンジとグループ化し、19年9月行政デジタル化のパブリテック事業で行政専用ビジネスチャット「LoGoチャット」、20年3月行政手続きデジタル化プラットフォーム「LoGoフォーム」をリリース。地域経済循環を促す地域通貨や、電力の地産地消を進めるエネルギー事業も実施。

本件の問い合わせ先：株式会社チェンジ
東京都港区虎ノ門 3-17-1
Control & Management担当
メール：ir_info@change-jp.com